

令和2年度 基本施策評価シート

作成日 令和2年5月21日

基本施策	G3 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります		
施策の目的 (対象と意図)	対象	意 図	
	市民が	いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーションに親しんでいる。	
長崎市第四次総合計画[後期基本計画] 基本施策掲載ページ		226ページ ~ 227ページ	
基本施策主管課名	スポーツ振興課	所属長名	井 克史
関係課名	中央総合事務所地域整備1課、中央総合事務所地域整備2課、生涯学習課、健康教育課、健康づくり課		

基本施策の評価

Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている
<p>判断理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本施策の成果指標のすべてが95%未満の目標達成率であるため「D」とする。 個別施策の成果指標7つのうち、100%以上の目標達成率が半数以下の1つで、目標達成率が95%未満の低いものもあるため「c」とする。 <p>【評価判断に至った成果・効果及び問題点・その要因】</p> <p>(1)各種スポーツイベントの参加者数が減少している。広報紙やHPでの周知しているが新たな周知方法を検討する必要がある。</p> <p>(2)V・ファーレン長崎のホームゲームへの無料招待に多くの小中学生の応募があり、トップレベルの競技を間近で見える機会を提供でき、「みるスポーツ」を通してスポーツへの関心を高めるきっかけをつくることができた。</p> <p>(3)国体に出場する県選手団における長崎市出身者の割合が減少し、全国での好成績につながっていない。</p> <p>(4)「ラグビーワールドカップ2019」日本大会に出場するスコットランド代表チームのキャンプ受け入れを実施し、公開練習の見学やラグビー教室を通じて「みる、支えるスポーツ」の振興を図った。</p> <p>(5)多くの市民に市営体育施設や学校体育施設などスポーツをする場所を提供できているが、利用者数は目標値を下回った。</p>

成果指標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R元	R2
運動・スポーツ実施率 (週に1日以上実施)	37.6% (26年度)	↑ 目標値	46.7	51.3	55.9	60.4	65.0
		実績値	37.4	34.7	36.2	38.5	
		達成率	80.1%	67.6%	64.8%	63.7%	
市営スポーツ施設の利用者数	2,583,480人 (26年度)	↑ 目標値	2,672,000	2,717,000	2,763,000	2,810,000	2,860,000
		実績値	2,636,866	2,519,983	2,602,788	2,261,835	
		達成率	98.7%	92.7%	94.2%	80.5%	

今後の取組方針

- (1) 市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、市民参加のスポーツイベントなどの情報提供を効果的に行う。
- (2) 「東京2020オリンピック・パラリンピック」のキャンプ実施国の選手を全市民でもてなし、応援する機運を醸成する。
- (3) V・ファーレン長崎のホームゲームへの招待事業を引き続き実施し、「みるスポーツ」を通してスポーツへの関心を高めるきっかけをつくる。
- (4) 新型コロナウイルスの影響により令和3年度以降に開催延期となった長崎平和マラソンについて、開催に向け状況を注視しつつ、引き続き具体的な準備を進める。
- (5) 施設の空き状況が多い平日昼間に参加可能な市民を対象としたスポーツ教室の実施について、競技団体や指定管理者との連携して取り組む。
- (6) 競技団体と連携して、競技力向上対策事業を実施することで、競技者の競技力向上に努めるとともに、継続してジュニア選手の強化を図る。
- (7) 長崎がんばらんば国体で育った優秀な指導者の地元への定着について、競技団体と連携して取り組む。

二次評価(施策評価会議による評価)

- 基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。
- P1成果指標「運動・スポーツの実施率」の実績値が低いのが、市民意識調査の聞き方を変えて、細やかに聞くとよいのではないか。
- P4「各種スポーツイベントの参加者数が減少傾向」とあるが、その理由について、したいスポーツの多様化もあると思うので、要因分析を深めてみるとよいのではないか。
- P9成果指標「小中学生の国際・全国・九州大会出場に係る補助対象件数」について、実績値が減少しているが、新型コロナウイルス感染症だけが理由なのか、元々減少傾向なのかかわからない。新型コロナウイルス感染症の影響やそれ以外の状況などがわかるよう、表現方法を考え丁寧に記載したほうがよいのではないか。

令和2年度 個別施策評価シート

個別施策	G3-1 スポーツ・レクリエーションを普及促進します		
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	市民が	日頃から自分に適したスポーツやレクリエーションに親しんでいる。	
個別施策主管課名	スポーツ振興課	所属長名	井 克史

令和元年度 of 取組概要

- ①スポーツイベント等の開催
- ・市民体育・レクリエーション祭(10月3日～26日)や長崎ベイサイドマラソン&ウオーク(11月16日、17日)などのスポーツイベントを開催した。
 - ・「ラグビーワールドカップ2019」日本大会に出場するスコットランド代表チームのキャンプ受け入れを実施し、公開練習の見学やラグビー教室を通じて「みる、支えるスポーツ」の振興を図った。
 - ・V・ファーレン長崎のホームゲームに市内の小中学生とその保護者2,400人を無料招待し、県内唯一のプロチームの試合を間近で見る機会を提供することで、「みるスポーツ」を通してスポーツへの関心を高めるきっかけをつくることができた。
 - ・健康教室において、ノルディックウォーキング教室を23回開催し、349人の市民が参加した。【F7-1から再掲】
- ※ノルディックウォーキング:2本のポールを使って行うウォーキング。上半身も使うため運動効果の高い種目である。
- ・ラジオ体操を通して健康づくりの普及・啓発を行うため、地域一斉ラジオ体操を推進し、ラジオ体操講習会を実施した。
- (2回開催予定のうち、後半は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)【F7-1から再掲】
- ②スポーツをする場所の提供
- ・延約226万人の市民に対し、市営体育施設や学校体育施設の貸出し等、スポーツを「する場所」を提供した。

成 果 指 標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

指 標 名	基準値 (時期)	区 分	H28	H29	H30	R元	R2
各種スポーツイベントへの参加者数	17,759人 (25年度)	↑ 目標値	18,800	19,200	19,600	20,000	20,400
		実績値	15,990	15,148	14,830	14,799	
		達成率	85.1%	78.9%	75.7%	74.0%	
市営体育館の利用者数	378,983人 (26年度)	↑ 目標値	385,000	388,000	391,000	394,000	397,000
		実績値	377,310	377,556	368,335	369,066	
		達成率	98.0%	97.3%	94.2%	93.7%	
学校体育施設の利用者数	557,424人 (26年度)	↑ 目標値	562,000	564,000	566,000	568,000	571,000
		実績値	529,226	471,223	568,627	520,319	
		達成率	94.2%	83.6%	100.5%	91.6%	
V・ファーレン長崎招待事業の応募件数	1,735件 (26年度)	↑ 目標値	1,743	1,751	1,759	1,767	1,775
		実績値	1,379	1,772	5,541	2,174	
		達成率	79.1%	101.2%	315.0%	123.0%	

評価(成果と効果)

取組みによる成果	5年後にめざす姿に対する効果
<p>①スポーツイベント等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民体育・レクリエーション祭や長崎ベイサイドマラソン&ウォークなどの各種スポーツイベントに14,799人が参加した。 ・「ラグビーワールドカップ2019」のキャンプ受入及び「東京2020オリンピック・パラリンピック」のキャンプを誘致した。 ・V・ファーレン長崎のホームゲームへの小中学生とその保護者の無料招待に、2,174件の応募があった。 	<p>各種スポーツイベントを開催することにより、多くの市民がスポーツに親しむことができた。</p> <p>キャンプを誘致し受け入れることで、世界のトップ選手と市民との触れ合いなど通じ、一流のスポーツを身近に感じる機会を提供できた。</p> <p>トップレベルの競技を間近でみる機会を提供することで、より「みるスポーツ」への関心を高めることにつながった。</p>
<p>②スポーツをする場所の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延約226万人の市民に市営体育施設や学校体育施設を貸し出した。 	<p>市営体育施設や学校体育施設の貸出しにより、多くの市民がスポーツに親しむことができた。</p>

評価(問題点とその要因)

5年後にめざす姿に対する問題点	問題点の要因
<p>①スポーツイベント等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツイベントの参加者数が減少傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やホームページで周知を行っているが、スポーツをするきっかけづくりにつながっていない。
<p>②スポーツをする場所の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日や夜間の利用者は多いが、平日昼間の利用には空きがある。 	<p>平日昼間の利用促進を図る新たな事業の実施に向けての検討が進んでいない。</p>

今後の取組方針

<p>①スポーツイベント等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が気軽にスポーツに親しむことができる新スポーツなどの周知やそれを体験できる機会を提供するとともに、市民参加のスポーツイベントなどの情報提供を効果的に行う。 ・「東京2020オリンピック・パラリンピック」のキャンプを通じて、「みる、支えるスポーツ」の振興を図るとともに、全市民でもてなし、応援する機運を醸成する。 ・早期のJ1復帰をめざすV・ファーレン長崎のホームゲームへの招待事業を引き続き実施し、「みるスポーツ」を通してスポーツへの関心を高めるきっかけをつくる。 ・スポーツツーリズムによる地域活性化のため、各種スポーツ大会や合宿の誘致活動、相談業務、情報発信を一元的に行う窓口として、平成28年3月に設立された「長崎県スポーツコミッション」と連携し、スポーツ大会・合宿の誘致に取り組む。 ・競技団体と連携を図りながら、競技普及活動や各種大会の創設など市民が気軽に参加できる機会を提供し、スポーツ人口の拡大につなげる。 ・令和3年度以降に開催延期となったフルマラソン大会「長崎平和マラソン」を実施するため、延期日程の再設定をはじめ、県警等関係機関との協議等具体的な準備を引き続き進める。 <p>②スポーツをする場所の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の空き状況が多い平日昼間の利用促進を図るため、平日昼間に参加可能な市民を対象としたスポーツ教室の実施など、競技団体や指定管理者との連携して取り組む。
--

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成30年度	令和元年度
1	(事業名) 社会体育行事開催費 【スポーツ振興課】 (事業目的) 各体育行事参加者の健康増進とスポーツ人口の底辺拡大を図る。 (事業概要) スポーツイベントの開催(レクリエーション・スポーツ教室、市民体育・レクリエーション祭、長崎ベイサイドマラソン&ウオーク、長崎新春駅伝等)	実施年度	継続	
		成果指標	各種スポーツイベントへの参加者数	
		目標値	19,600 人	20,000 人
		実績値	14,830 人	14,799 人
		達成率	75.7 %	74.0 %
		決算(見込)額	23,787,393 円	23,651,908 円
		成果指標及び目標値の説明	スポーツイベントへの参加者が増えることで、スポーツをする機会の充実が図られていると考えられるため、市主催の各種スポーツイベントへの参加者数を成果指標とした。 基準値17,759人(平成25年度)から毎年2%増とすることを目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	・レクリエーション・スポーツ教室：469人 ・市民体育・レクリエーション祭：7,259人 ・長崎ベイサイドマラソン&ウオーク：5,459人 ・長崎新春駅伝：1,336人 ・その他のイベント：307人 合計：14,830人	(取組実績)	・レクリエーション・スポーツ教室：435人 ・市民体育・レクリエーション祭：7,522人 ・長崎ベイサイドマラソン&ウオーク：5,496人 ・長崎新春駅伝：1,086人 ・その他のイベント：260人 合計：14,799人
	(成果・課題等)	イベント当日の悪天候等の影響で、参加人数が減少したことにより、目標人数には達しなかった。特に大きく減少したイベントについては、周知活動を強化する必要がある。	(成果・課題等)	イベント当日の悪天候等の影響で、参加人数が減少したことにより、目標人数には達しなかった。前年度と比較しても減少しており、引き続き周知活動を強化する必要がある。
2	(事業名) 小・中学校体育施設開放運営費 【スポーツ振興課】 (事業目的) 市民への社会体育の普及及びスポーツ活動の場の確保を図る。 (事業概要) 小・中学校体育館・武道場・運動場等の貸出及び管理運営を行う。	実施年度	継続	
		成果指標	小・中学校体育施設開放の利用者数	
		目標値	546,000 人	548,000 人
		実績値	544,973 人	503,381 人
		達成率	99.8 %	91.9 %
		決算(見込)額	18,648,453 円	18,177,284 円
		成果指標及び目標値の説明	施設利用者が増えることで、スポーツをする施設の充実が図られていると考えられるため、市立学校運動場及び体育館等のスポーツ解放による利用者数を成果指標とした。 基準値537,876人(平成26年度)から毎年0.4%増を目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	体育館：479,636人 運動場：20,752人 武道場：44,585人 合計：544,973人	(取組実績)	体育館：445,244人 運動場：18,560人 武道場：39,467人 合計：503,271人
	(成果・課題等)	利用者数は目標値に達しなかったが、市民の身近にある学校の体育施設を開放することで、気軽にスポーツをする場を提供できた。	(成果・課題等)	利用者数は目標値に達しなかったが、市民の身近にある学校の体育施設を開放することで、気軽にスポーツをする場を提供できた。

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成30年度	令和元年度
3	(事業名) ラグビーワールドカップキャンプ誘致推進費 【スポーツ振興課】 (事業目的) ラグビーワールドカップ2019における各国代表チームのキャンプを長崎市に誘致することで、世界のトップ選手とのふれあいなどを通じた国際交流を行い、地域活性化につなげるとともに、長崎市のスポーツの振興を図る。 (事業概要) 大会開催前に実施される事前キャンプ並びに大会期間中に実施される公認キャンプ誘致のため、各国との交渉や情報収集を行う。	実施年度	平成27～令和元年度	
		成果指標	キャンプ実施決定件数	
		目標値	2 件	2 件
		実績値	2 件	2 件
		達成率	100.0 %	100.0 %
		決算(見込)額	3,981,665 円	29,908,468 円
		成果指標及び目標値の説明	ラグビーワールドカップ2019におけるキャンプについて、長崎市での実施が正式に決定した件数を成果指標とした。 事前キャンプ、公認キャンプそれぞれ1件ずつ、合計2件の実施を目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) キャンプ実施に向け、スコットランド関係者や大会組織委員会等との協議を継続的に行った。 (成果・課題等) スコットランド代表チームの事前キャンプに引き続き公認キャンプ地として大会組織委員会から決定がなされた。	(取組実績) 大会組織委員会等が定める施設・環境要件を満たすため芝生拡張業務やトレーニング機器の調達等を実施し、万全の環境・体制を整えキャンプ受入を実施した。また、円滑なキャンプ受入進行のためにスコットランド関係者等との協議を継続的に行った。 (成果・課題等) 監督・コーチ、選手、協会役員などスコットランド代表チーム57名のキャンプ受入を行い、事前キャンプ(9/10～9/13)及び公認キャンプ(9/14～9/17)を実施した。		
4	(事業名) ラグビーワールドカップキャンプ交流事業費 【スポーツ振興課】 (事業目的) ラグビーワールドカップ2019において、事前キャンプを実施する予定であるスコットランドとの交流事業を行い、国際性を有する青少年の健全育成及びスコットランド代表チームを市全体で歓迎するための機運の醸成を図る。 (事業概要) スコットランドラグビー協会が来崎した際の交流レセプション開催、スコットランドラグビー協会によるラグビー教室の開催や学校訪問、長崎市とスコットランドの子どもたちの相互派遣を実施する。	実施年度	平成28～令和元年度	
		成果指標	交流事業の参加者数	
		目標値	600 人	600 人
		実績値	300 人	5,260 人
		達成率	50.0 %	876.7 %
		決算(見込)額	1,522,965 円	1,692,639 円
		成果指標及び目標値の説明	交流事業に参加することで、国際性を有する青少年の健全育成が図られていると考えられるため、交流事業の参加者数を成果指標とした。類似事業の参加人数を参考とし、毎年600人の参加を目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) ・スコットランドU16による各種交流事業の実施 歓迎行事 50人、学校訪問 80人、交流試合(市選抜戦 60人、県選抜戦 60人)、伝統文化体験 50人 (成果・課題等) スコットランドU16チームの滞在日数が限られている中、可能な限りの交流事業を実施したが、参加人数は目標値を下回った。翌年の本番に向け、より効果的な交流事業の実施を検討していく。	(取組実績) ・スコットランド代表チームキャンプ実施による各種交流事業の実施 公開練習3,000人、歓迎レセプション460人、ウェルカムセレモニー300人、スコットランド代表OB選手によるラグビー教室1,000人、スコットランド代表対日本代表戦パブリックビューイング500人 (成果・課題等) 限られたキャンプ受入の期間で、スコットランド関係者の協力のもと可能な限り市民との交流の機会をつくり、多くの市民と交流できた。		

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成30年度	令和元年度
5	<p>(事業名) 東京オリンピック・パラリンピックキャンプ誘致推進費</p> <p>【スポーツ振興課】</p> <p>(事業目的) 東京2020オリンピック・パラリンピックにおける各国選手団のキャンプを長崎市に誘致することで、世界のトップ選手とのふれあいなどを通じた国際交流を行い、地域活性化につなげるとともに、長崎市のスポーツ振興を図る。</p> <p>(事業概要) 大会開催前に実施される事前キャンプ誘致のため、各国との交渉や情報収集を行う。</p>	実施年度	平成27～令和元年度	
		成果指標	誘致活動を実施した相手国の数	
		目標値	3 カ国	3 カ国
		実績値	3 カ国	3 カ国
		達成率	100.0 %	100.0 %
		決算(見込)額	49,900 円	90,912 円
		成果指標及び目標値の説明	誘致活動を実施する相手国の数を成果指標とした。姉妹都市がある国のうち、市内に領事館を有する3カ国への誘致を目標とした。	
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎県・長崎県スポーツコミッションと連携し、誘致活動を行った。(ポルトガル、ベトナム、ラオス) ・ポルトガル水泳連盟との間に、キャンプに係る基本合意書の調印を行った。 <p>(成果・課題等)</p> <p>ベトナム及びラオスは、長崎市で事前キャンプを実施する意向であり、現在、正式決定に向けた協議を進めている。</p> <p>今後、より効果的な交流事業の実施を検討していく必要がある。</p>	<p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎県・長崎県スポーツコミッションと連携し、誘致活動を行った。(ポルトガル、ベトナム、ラオス) ・ベトナムスポーツ総局とキャンプに係る基本合意書の調印を行った。 <p>(成果・課題等)</p> <p>オリンピック開催が1年程度延期されたことに伴い、キャンプの受入人数や期間が未定となっている。</p> <p>県スポーツコミッションを通じて情報共有を図り受入環境を整えていく必要がある。</p>

令和2年度 個別施策評価シート

個別施策	G3-2 競技スポーツを強化します		
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	市民が	競技スポーツにおいて、高い競技力を発揮している。	
個別施策主管課名	スポーツ振興課	所属長名	井 克史

令和元年度の取組概要

①競技力向上のための取組み

- ・国体競技種目のうち、32競技団体に対し、各競技団体が実施した強化事業を支援することで競技力の向上を図った。
- ・43競技団体に対して、スポーツ教室や指導者研修会等のスポーツ普及指導事業を支援することで、各種スポーツの普及・振興を図った。
- ・各競技団体が実施する強化練習、遠征試合、優秀チームや指導者招聘などのジュニア強化事業を支援することでジュニアスポーツの競技力向上を図った(32競技団体、実施回数454回、参加児童生徒19,464人)。
- ・全国大会等に出場する選手に対して、経費の一部を補助することで、経済的な負担の軽減を行った(補助件数: 272件)。

成果指標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

指 標 名	基準値 (時期)	区 分	H28	H29	H30	R元	R2
国民体育大会に出場する長崎県選手団における長崎市出身者の割合	33.9% (26年度)	↑ 目標値	35.3	36.0	36.7	37.4	38.2
		実績値	35.3	32.2	34.7	33.8	
		達成率	100.0%	89.4%	94.6%	90.4%	
スポーツ表彰の受賞件数	114件 (25年度)	↑ 目標値	127	132	137	142	147
		実績値	80	93	55	52	
		達成率	63.0%	70.5%	40.1%	36.6%	
【補助指標】 小中学生の国際・全国・九州大会出場に係る補助対象件数	253件 (26年度)	↑ 目標値	270	280	290	300	310
		実績値	270	266	245	193	
		達成率	100.0%	95.0%	84.5%	64.3%	

評価(成果と効果)

取組みによる成果	5年後にめざす姿に対する効果
①競技力向上のための取組み ・各競技団体が実施するジュニア強化事業を支援することで、強化事業の実施団体が前年より1団体増加した。なお、実施回数と参加者数は減少した。	強化事業の実施団体が増えたことで競技力向上が図られた。また、各競技者が高い競技力を発揮することにつながった。 長崎県選手団全体の順位は41位から26位へ上昇した。

評価(問題点とその要因)

5年後にめざす姿に対する問題点	問題点の要因
①競技力向上のための取組み ・国体の県代表となるまでの競技力は高まったものの、全国での好成績になかなかつなげない。 ・小中学生の国際・全国・九州大会出場に係る補助対象件数が目標値を下回った。	・競技力向上の取組みは、すぐに効果が表れないため。 ・長崎市は全国の中でも人口減少が進んでおり、切磋琢磨できる環境の減少につながっている。 ・新型コロナウイルス感染防止対策により、3月に開催予定の全国大会等が中止となったことも要因の一つとなっている。

今後の取組方針

①競技力向上のための取組み ・今後も競技団体と連携して、競技力向上対策事業を実施することで、競技者の競技力向上に努める。また、競技力向上対策が、国体までの一過性のもとならないよう、継続してジュニア選手の強化を図る。 ・指導者の資質向上を図るため、民間指導者の発掘や指導者講習会を行う。 ・長崎がんばらんば国体における競技役員等の養成事業により、競技団体の競技運営能力が向上していることを踏まえ、今後も質の高い競技会を開催しながら、選手の育成・強化に取り組む。 ・長崎がんばらんば国体で育った優秀な指導者の地元への定着について、競技団体と連携して取り組む。 ・スポーツ少年団等の部員募集を支援するとともに、万一会合チームの結成やチームの合併等になったとしてもスムーズな移行ができるよう、普段からスポーツ交歓会の開催等を通じて部員相互の親睦を図るなど、子どもたちが競技を続けられる環境づくりを行う。
--

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成30年度	令和元年度	
1	<p>(事業名) ジュニアスポーツ競技力向上対策費補助金 【スポーツ振興課】</p> <p>(事業目的) 全国大会等での本市ジュニア選手の活躍を増やし、底辺の拡大も図る。</p> <p>(事業概要) 市体育協会加盟団体がジュニア層の競技力向上を図る強化合同練習、遠征試合、優秀チーム・指導者招致事業を行うための経費の一部を補助する。</p>	実施年度	継続		
		成果指標	国体長崎県選手団における長崎市出身選手の割合		
		目標値	36.7 %	37.4 %	
		実績値	34.7 %	33.8 %	
		達成率	94.6 %	90.4 %	
		決算(見込)額	15,505,708 円	15,462,904 円	
		成果指標及び目標値の説明	<p>国体長崎県選手団における長崎市出身者の割合が増えることで、競技者の競技力が向上したと考えられるため、国民体育大会に出場する県選手団における市出身者の割合を成果指標とした。 基準値33.9%(平成26年度)から前年度比2.0%の増とすることを目標とした。</p>		
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 交付団体数:31競技団体 補助対象事業:509回 事業参加者数:22,052人</p> <p>(成果・課題等) 目標値にわずかに達していないが、実施団体、実施回数が増加し、その結果参加する児童生徒人数を大きく増やすことができ、競技レベルの向上が図られている。</p>	<p>(取組実績) 交付団体数:32競技団体 補助対象事業:454回 事業参加者数:19,464人</p> <p>(成果・課題等) 目標値に達していないが、強化事業を行う団体は増加した。 国体での長崎県選手団全体の順位は41位から26位となり、競技レベルの向上が図られている。</p>	